

令和5年7月10日発行

演劇・映画の専門図書館

松竹大谷図書館ニューズレター

No. 304(2023年7月)

■松竹大谷図書館 開館65周年のご挨拶

おかげさまで、公益財団法人松竹大谷図書館は令和5(2023)年7月1日、開館65周年を迎えました。

これも偏に皆さまのご支援とご協力の賜物と、心から御礼申し上げます。

当館は松竹株式会社の創業者の一人、大谷竹次郎が昭和30(1955)年に文化勲章を受章したことを記念して、昭和33(1958)年7月に開館した演劇・映画専門の私立図書館です。演劇・映画に関する約50万点の資料を広く一般に公開し、芸術文化の振興と社会文化の向上発展に寄与することを目的として活動しております。

今後ともスタッフ一同、皆さまの役に立つ図書館を目指し、より一層のサービスに努めて参りますので、何卒ご支援ご愛顧を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



昭和33年7月、到着した資料を手にする大谷竹次郎

さて当館では開館65周年を機に、より多くの方に利用していただける図書館を目指し、シンボルとなるような記念ロゴマークを初めて作成いたしました。

今回、当館の開館65周年ロゴを手掛けたのは、デザイナーの北本裕章氏です。伝統的な世界に爽やかな現代の風を吹き込む魅力的なアートワークで、エンターテインメントを華やかに彩り、新橋演舞場のロゴ制作をはじめ、歌舞伎座や平成中村座、新派公演などの演劇公演の宣伝ビジュアルでは受賞多数。金刀比羅宮のアートワークや、人気ワイン漫画『神の雫』（講談社）全44巻の表紙デザインなど出版物の装丁も多数手掛けています。

図書館らしい「本」をモチーフに、緑色の松竹マークをあしらった松竹大谷図書館の新たな顔となるロゴマークとともに、今後とも末永くよろしくお願い申し上げます。



目次:

松竹大谷図書館 開館65周年のご挨拶	1	新着資料案内	3
第98回所蔵資料ミニ展示「ふたりの巨匠の芝居と映画—池波正太郎・司馬遼太郎 生誕100年—」	2	新規登録資料案内	3
「中央区まちかど展示館」夏休みスタンプラリー&クイズが始まりました	2	公益財団法人松竹大谷図書館へのご支援のお願い	4
所蔵資料紹介 -[7]「大谷竹次郎」関連書籍-	2	松竹大谷図書館 ご来館予約のお願い	4
資料をご寄贈くださった方々	3	夏期整理休館のお知らせ	4
		利用案内	4

■第98回所蔵資料ミニ展示「ふたりの巨匠の芝居と映画—池波正太郎・司馬遼太郎 生誕100年—」

展示期間：令和5[2023]年6/30～8/10 於 閲覧室

当館では6月30日より、閲覧室ミニ展示「ふたりの巨匠の芝居と映画—池波正太郎・司馬遼太郎 生誕100年—」が始まりました。

本年は、池波正太郎と司馬遼太郎という歴史・時代小説家の巨匠ふたりの生誕100年にあたります。ふたりの代表作の多くは舞台化、映画化され、今もなお人々の心を捉え続けています。そこで今回の展示では、芝居や映画になった作品の台本やプログラム、写真など、当館ならではの資料でご紹介し、改めて作品の魅力や作風の違いに迫ります。

展示はご予約なしでご覧いただけますが、台本やプログラム、図書などをお読みにになりたい方は閲覧室内のお席をおとりいたしますので、前日までに電話でのご予約をお願いいたします。皆さまのご来館をお待ちしております。



司馬遼太郎「暗殺」の映画資料

閲覧室ミニ展示「ふたりの巨匠の芝居と映画—池波正太郎・司馬遼太郎 生誕100年—」

展示期間：2023年6/30(金)～8/10(木)/時間：平日10時～17時/休館日：土日祝日、毎月最終木曜日/展示場所：松竹大谷図書館 閲覧室 ※現在、展示は予約なしでご覧いただけます。松竹大谷図書館 TEL 03-5550-1694 (平日：10時より17時) <https://www.shochiku.co.jp/shochiku-otani-toshokan/>

■「中央区まちかど展示館」夏休みスタンプラリー&クイズが始まりました

7月1日より、当館が参加している「中央区まちかど展示館」の【夏休みスタンプラリー&クイズ】が始まりました。昨年からはまったスタンプラリーとクイズのコラボ。今年の当館のクイズは、銀座に建つ有名な劇場についての問題です。このスタンプラリー&クイズは、地区別に各館に掲示してあるクイズ問題の答えを5問以上、スタンプを4カ所以上集めて応募すると、正解者の中から抽選で、各館提供の素敵な景品が当たります。当館の景品は、芝居絵ペーパークラフト組上燈籠絵復刻版「一谷嫩軍記 組討」と、「先代萩」「め組のけんか」「かふきのさうし」の文庫本カバー3種です。

▼【夏休みスタンプラリー&クイズ】のページはこちら

https://www.chuoku-machikadotenjikan.jp/stamp rally_summer2023.html



■所蔵資料紹介 —[7]「大谷竹次郎」関連書籍—

松竹大谷図書館の所蔵資料を写真と共にご紹介するコーナー。今回は、松竹大谷図書館開館65周年にちなんで、当館の創設者である大谷竹次郎の関連書籍をご紹介します。いずれも、日本の演劇史に大きな足跡を遺した大谷竹次郎の生い立ち、そして業績を詳しく知ることができる書籍です。当館の記念となるこの節目の年に、是非お読みになってみてはいかがでしょうか。

【写真上左より】

『大谷竹次郎演劇六十年』城戸四郎編・脇屋光伸著 昭和26[1951]年講談社発行
大谷竹次郎の60余年にわたる演劇界での活動について、その生い立ちから歌舞伎座完成に至るまでが著された書
『百人が語る巨人像 大谷竹次郎』『百人が語る巨人像・大谷竹次郎』刊行会 昭和46[1971]年発行
大谷竹次郎没後、その人物と業績を後世に伝える目的で各界百名から原稿を集めて出版したもので大正11[1922]年に国風書院より発行された『立志傳中の人 松竹兄弟』(渡辺霞亭著)も収録されている

【写真下左より】

『松竹兄弟物語』村松梢風著 昭和30[1955]年毎日新聞社発行
村松梢風による伝記小説
『大谷竹次郎』田中純一郎著 昭和36[1961]年時事通信社発行
大谷竹次郎の伝記。巻末に「年譜」が付されている
平成7[1995]年に新版が発行された



新たに資料をご寄贈くださった方々

(敬称略・順不同/2023年5月まで)

※許可を得た方のみ掲載しております

松竹株式会社、ミュージカルカンパニー イッツフォーリーズ、銀座 博品館劇場、公益社団法人日本劇団協議会、文学座、博物館明治村、国立劇場、(株)マルヨンプロダクション「シナリオ」編集部、公益社団法人 企業メセナ協議会、シアタークリエ、KAAT神奈川芸術劇場、有限会社合同通信社、博多座、東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)、キネマ旬報社、中村京蔵、無声映画鑑賞会、株式会社文学座、世田谷文学館、一般財団法人調布市武者小路実篤記念館、立木弘子、国立映画アーカイブ、園田学園女子大学近松研究所、特定非営利活動法人映像産業振興機構(VIPO)、人形劇団ブーク、公益財団法人阪急文化財団、こまつ座、玉川大学教育博物館、日本映画テレビプロデューサー協会、樽松大剛、一般社団法人日本民間放送連盟、株式会社カモミール社テアトロ編集部、公益社団法人日本照明家協会、日本劇作家協会、花鳥社、早稲田大学演劇博物館、劇団俳優座、劇団民藝、京都精華大学講師 浅野久枝、(株)近代映画社、神奈川県演劇連盟、特定非営利活動法人 国際人形劇連盟日本センター、国立歴史民俗博物館、銀座百店会、おとなのデジタルTVナビ編集部、シナリオ・センター、株式会社日本舞踊社、早稲田大学演劇映像学会、帝国劇場、斉藤吉弘、公益財団法人日本近代文学館、鈴木としお、若林さだ吉、協同組合 日本映画撮影監督協会、津村賢次、山口記弘、松坂雅治、安孫子正、公益社団法人 国際演劇協会、川崎哲男、東宝株式会社ライツ事業部、藤田幸子

どうもありがとうございました

新着資料案内

(ポスター閲覧ご希望の際は事前に御予約をお願いいたします)

新しく受入れた資料をご案内いたします

◆松竹系6月演劇公演資料		○ … 受入済み			
劇場	演目	台本	スチール	プログラム	ポスター
歌舞伎座	『傾城反魂香 土佐将監閑居・浮世又平住家』	○	○		
	『児雷也』	○	○		
	『扇獅子』	○	○	○	○
	『義経千本桜 木の実・小金吾討死・すし屋・川連法眼』	○	○		
新橋演舞場	『幕末ドラゴン ケセ強オンナと時をかけない男たち』			○	○
三越劇場 (日本橋)	『三婆』	○		○	○
	『朗読 杉山さん』	○			
	『朗読 残菊物語』	○			
南座	『星降る夜に出掛けよう』				
松竹座	『夜曲 ノクターン』	○		○	
博多座	『廓三番叟』				
	『人情断文七元結』	○			
	『太刀盗人』	○			
	『夏祭浪花鑑』	○		○	
	『羽根の禿』				
	『うかれ坊主』				
	『三人吉三巴白浪 大川端庚申塚の場』	○			

シアタークリエプログラム/演劇集団キャラメルボックス『クロノス・ピギンズ』サンシャイン劇場プログラム/『第百五十回松永会長唄演奏会』国立劇場小劇場プログラム/『今藤政太郎作品演奏会』国立劇場小劇場プログラム/『第184回鴨川をどり』京都先斗町歌舞練場プログラム/『吾妻流再興九十周年記念 初代吾妻徳徳二十七回忌追善 吾妻会』国立劇場大劇場プログラム/『第61回声明公演』国立劇場大劇場プログラム/『第173回舞踊公演』国立劇場大劇場プログラム/『第224回文楽公演』国立劇場小劇場プログラム、床本

◆**映画資料** 『ブラックローバー 魔法帝の剣』プログラム/『大名倒産』台本、ポスター、プログラム/『交換ウソ日記』台本、ポスター、プログラム

◆**映画プログラム** (順不同) 『永久少年 Eternal Boys NEXT STAGE』 『ザ・フラッシュ』 『リトル・マーメイド』 『怪物』 『M3GAN ミーガン』 『探偵マローウ』 『君は放課後インソムニア』 『スパイダーマン: アクロス・ザ・スパイダーバース』 『ホワット・イフ...?』 『インディ・ジョーンズプログラムコレクション2023』 『ウィ、シェフ!』 『東京リベンジャーズ2 血のハロウィン編 決戦』 『オレンジ・ランブ』 『映画祭 中国を知る』

◆**演劇雑誌** (順不同) 『Confetti』 2023年July/ 『KENSYO』 Vol. 129/ 『あぜくら』 2023年6月号/ 『ほうおう』 2023年8月号/ 『テアトロ』 2023年7月号/ 『ラ・アルプ』 2023年6月号, 7月号/ 『ル・サンク』 Vol. 82, Vol. 112/ 『喝采』 2023年9月/ 『芸劇BUZZ』 Vol. 44/ 『劇評』 第15号/ 『国立演芸場公演ガイド』 令和5年6月号, 7月号/ 『大向う』 令和5年6月号, 7月号/ 『日本芸術文化振興会ニュース』 2023年7月号/ 『日本照明家協会誌』 2023年6月号/ 『日本舞踊』 75巻7月号/ 『悲劇喜劇』 2023年7月号/ 『文化座』 198号/ 『宝塚GRAPH』 2006年5月号/ 『宝塚おとめ』 1994年版-2009年版/ 『宝塚アカデミア』 13-28/ 『宝塚ステージ・アルバム』 1994年版, 1997年版/ 『夢の花束』 Vol. 36-Vol. 38, Vol. 41-Vol. 45, Vol. 47-Vol. 52, Vol. 54-Vol. 63, Vol. 65-Vol. 67, Vol. 69

◆**映画雑誌** (順不同) 『FLIX』 2023年8月号/ 『NFAJプログラム』 No. 44, No. 45/ 『SCREEN』 2023年8月号/ 『TVガイド』 2023年6/9号, 6/16号, 6/23号, 6/30号/ 『おとなのデジタルTVナビ』 2023年8月号/ 『キネマ旬報』 2023年7月上・下旬合併号/ 『シナリオ』 2023年8月号/ 『シナリオ教室』 2023年7月号/ 『ドラマ』 2023年7月号/ 『ピクトアップ』 2023年8月号/ 『ムービー・スター』 2023年8月号/ 『ムービータイムス』 7091号, 7092号, 7095号-7102号, 7118号/ 『映画テレビ技術』 2023年7月号/ 『映画ビジネス』 1276号-1280号, 1282号-1286号/ 『映画時報』 2023年5月号, 6月号/ 『日経エンタテインメント!』 2023年7月号/ 『文化通信ジャーナル』 2023年7月号

◆**他社演劇公演資料 (2023年4月-6月)** (順不同) イキウメ『人魂を届けに』シアタートラムプログラム/劇団た組『綿子はおつれる』東京芸術劇場シアターイーストプログラム/劇団扉座『Kappa 中島敦の「わが西遊記」より』座・高円寺1プログラム/アナログスイッチ『信長の野暮』吉祥寺シアタープログラム/文学座『地獄のオルフェウス』文学座アトリエプログラム、台本/うにくらげ『unikurage』宗清寺プログラム/ウーマンリブ『もうがまんできない』本多劇場プログラム/アオタミナの会『ふたり、静かに』下北沢駅前劇場プログラム/PLAY/GROUND Creation『Spring Grieving』サンモールスタジオプログラム/くによし組『なんもできない』『チキン南蛮の夜』下北沢OFF・OFFシアタープログラム/劇団民藝『カストリ・エレジー』紀伊國屋サザンシアタープログラム、台本/カンコンキンシアター『クドい! 飯尾和樹スターに成りました』博品館劇場プログラム/MUSICAL『O.G.』博品館劇場プログラム/『漫才ギャング リローデッド』博品館劇場プログラム/ミュージカル『夢に向かって ブルースな日々』博品館劇場プログラム/ミュージカル『シー・ラヴズ・ミー』

新規登録資料案内

(順不同)

新しく受入れた資料をご案内いたします

『私流演技とは わが役者人生の歩みとともに』『芝居唄』『団地映画論 居住空間イメージの戦後史』『キネマ旬報ベスト・テン95回全史 1924→2021』『映画と演劇 ポスターデザインワークの50年 知られざる仕事師の全仕事』『東映動画面論 経営と創造の底流』『成城映画散

歩 あの名画も、この傑作も、みな東宝映画誕生の地・成城で撮られた』『近代アジアの映画産業』『僕が選んだ世界の女優50選』『美空ひばり思い出草紙』『鈴木清順論 影なき声、声なき影』『最後の付き人が見た渥美清最後の日々「寅さん」四年間の真実』

公益財団法人松竹大谷図書館へのご支援のお願い

公益認定を受けた財団法人への寄附金支出者は税制上の優遇措置が受けられます

公益財団法人松竹大谷図書館は、演劇・映画の専門図書館である松竹大谷図書館を運営し、所蔵資料を広く一般に無料で公開して、芸術文化の振興と社会文化の向上発展に寄与することを目的とする事業を行っております。当館の使命である、資料を収集・整理・保存・公開する図書館事業を確実かつ永続的に達成し、さらなる社会貢献をしていくために、寄附金を募っております。

何卒、ご理解とご賛同をいただき、格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

■現在ご支援いただいている方々(了承を得た方のみ掲載)令和5[2023]年6月にご支援いただきました

法人・団体 (50音順・敬称略)

株式会社歌舞伎座
歌舞伎座サービス株式会社
歌舞伎座舞台株式会社
有限会社合同通信社
松竹株式会社
松竹衣裳株式会社

株式会社松竹映像センター
松竹音楽出版株式会社
松竹芸能株式会社
株式会社松竹サービスネットワーク
松竹ブロードキャスティング株式会社
株式会社松竹マルチプレックスシアターズ

個人 (敬称略)

直井小百合

どうもありがとうございます

松竹大谷図書館 ご来館予約のお願い

開館日時やご利用方法につきましては、状況の変化にともない変更の可能性がございます。

随時お電話での確認や、当館のHP、Facebookの更新をご確認下さい。ご理解ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

当館は感染対策のため、ご来館は「前日までの予約制」とさせていただきます。

《現在のご利用について》(※2023年5月16日改定)

- 開館時間 10:00～17:00
- ご来館前日(※休館日を除く)までに、お電話でのご予約をお願い致します。
当日のご利用は、閲覧席に空きがある場合のみ承ります。
松竹大谷図書館 03 (5550) 1694 (平日10時～17時)
- 展示はご予約なしでご覧頂けます。状況によっては、入室をお待ち頂く場合がございます。
- ご利用の際はマスクの着用と手指の消毒のご協力をお願い致します。

《ご予約について》

- ★10時から17時まで、毎正時より1時間単位でのご予約制になります。
- ★お名前、人数、ご希望日時(〇月〇日〇時より〇時まで)、閲覧希望資料名、ご連絡先をお知らせ下さい。
- ★資料は予約優先になりますので、ご利用頂けない場合もございます。

松竹大谷図書館資料検索：<https://opac315.libraryexpert.net/lib-shochiku-otani/>

詳しいご利用方法はこちら：<https://www.shochiku.co.jp/shochiku-otani-toshokan/news/220606.html>

夏期整理休館のお知らせ
令和5年8月11日(金)より
8月27日(日)まで
8月28日(月)より開館いたします



- 利用案内●[開館時間]平日10:00～17:00/[休館日]土曜日、日曜日、祝日、毎月最終木曜日、5月1日、11月22日、年末年始、春期・夏期整理期間※その他、臨時休館のある場合は1ヶ月前から館内およびWebサイトに掲示します/[閲覧]館内閲覧のみ
- [入館料]無料/[コピーサービス] A4 1枚 白黒50円、カラー150円・B4 1枚 白黒100円、カラー300円 量が多い場合は翌開館日渡し、または郵送(送料は申込者負担) 但し、コピー不可の資料もあります
- 資料検索●<https://opac315.libraryexpert.net/lib-shochiku-otani/>
- 交通案内●東京メトロ日比谷線、都営地下鉄浅草線 東銀座駅5番出口より徒歩3分/東京メトロ有楽町線 新富町駅1番出口より徒歩8分

公式HP



公式Facebook



公式Instagram



公式Twitter



編集・発行:公益財団法人 松竹大谷図書館
〒104-0045 東京都中央区築地1-13-1 銀座松竹スクエア3階

TEL.03-5550-1694

公式HP● <https://www.shochiku.co.jp/shochiku-otani-toshokan/>